

「ながの花と緑大賞」の創設

・財団法人長野市都市緑化基金の解散

昭和60年に民間企業と市が共同で出資し、都市緑化推進のために立ち上げた「財団法人」で、緑を豊かにする計画に定める民有地緑化を主な事業として活動を行っていたが、その後法人としての基金運営が困難となり、平成18年2月10日付けで解散する。

主な事業：「結婚・新築・入学記念樹贈呈事業」「花鉢コンクール、写真コンテスト」
など

・長野市都市緑化基金の創設

平成18年7月3日付けで新たに市の基金として「長野市都市緑化基金」を設置し、長野市都市緑化基金の寄附行為に基づき長野市が残った財産4億484万1,757円の寄付を受ける。基金の運用収入及び取崩し金を、都市緑化推進に必要な事業費に財源充当した。

・ながの花と緑大賞の創設

第5期長野市緑を豊かにする委員会において緑化施策の検討を行い、平成17年6月に市民の活動や取組を推進すべく顕彰制度の創設について委員会より答申。花鉢コンクール、写真コンテストを引き継ぐ形で平成18年度から「ながの花と緑大賞」が始まる。

・現在の状況

事業の主な財源である基金の減少に伴い、ながの花と緑大賞を含む緑化・緑育事業全体的見直しを求められている。

1 制度の見直し経過について

緑化顕彰事業として平成 18 年度（2006 年度）に事業を開始。これまでに 13 回の開催。

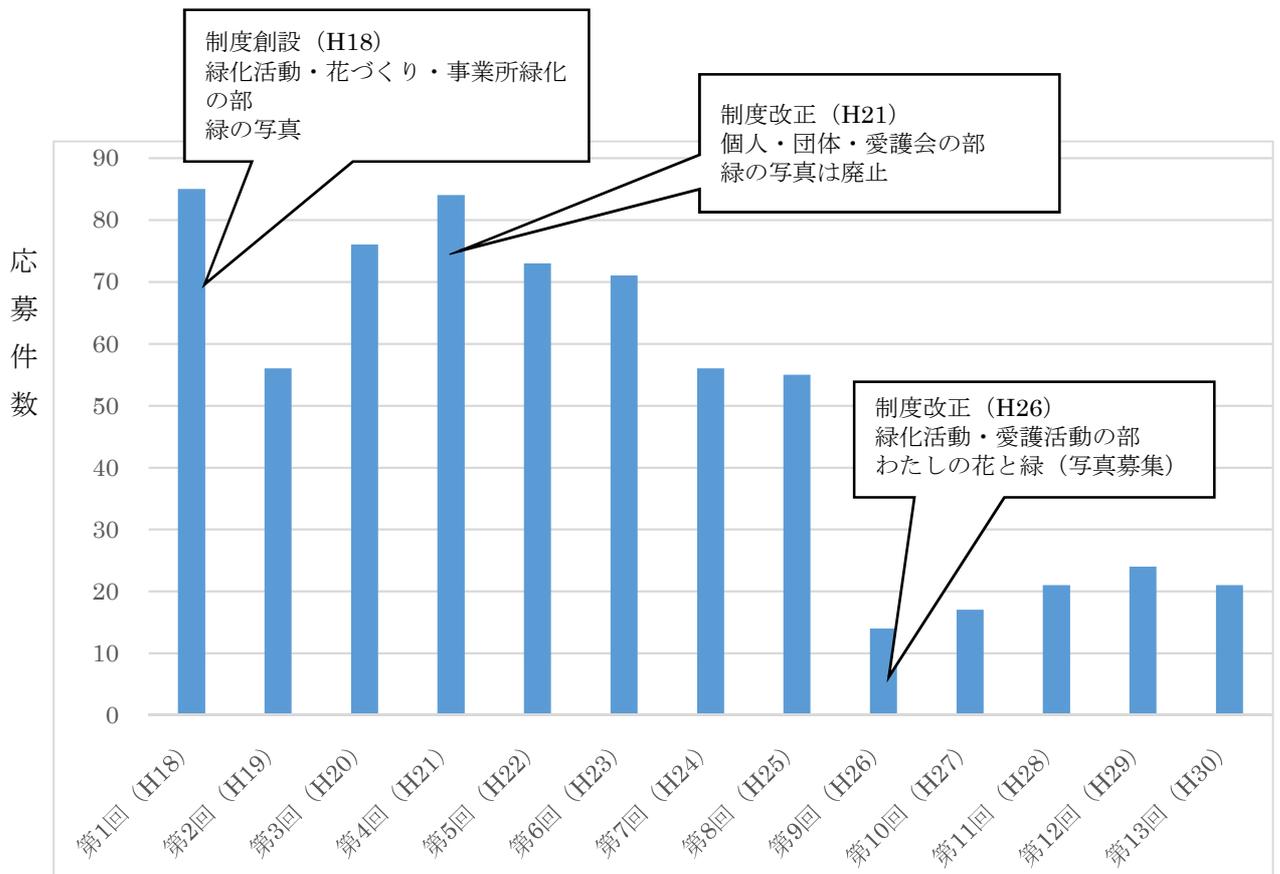
平成 26 年度に大きく制度を見直し、それまで設置していた「個人の部」「団体の部」を「緑化活動の部」とし、「多くの人が目にし、楽しむことのできる、公共性の高い花壇等」を顕彰対象とした。また、6 点程度表彰していた「大賞」を 1 点程度とするなど、表彰点数と賞金、審査基準の見直しを実施した。

あわせて個人や事業者によるプライベートな庭や花壇は「わたしの花と緑」として募集し、応募作品は応募作品集「はなとみどり」に掲載し紹介する事業とした。

近年は、応募作品の減少や応募者の固定化の傾向がある。

令和 2 年度は、事業の主な財源である基金の減少に伴い、再度、見直しが必要な状況となっている。

2 応募件数の推移（1 回から 13 回まで）



「ながの花と緑大賞 2018」実施内容について

1 募集から審査、表彰までの流れ

(募集対象) 緑化活動の部 ・ 愛護活動の部

(募集期間) 4月20日(金)～6月8日(金)

(募集方法) 市内園芸店(約150店)、応募経験者(約250名)へ募集チラシ送付
支所、公民館等関係施設での募集チラシ設置(計3,000部)

(審査) 6月中旬に書類及び現地審査を実施(応募数により1日～2日)
平成30年6月20日(水)、22日(金)実施

① 応募調書をもとに現地審査を行い、選考審査シートにより採点を行う

② 審査員全員の採点を合計し、その結果をもとに審査員で協議選考、決定

(審査員) 長野市緑を豊かにする委員会委員(15名)

(表彰内容)

部門	賞(点数)	表彰内容	受賞者数	応募者数
緑化活動の部	大賞 (1点程度)	賞状・賞金3万円	1点	17点
	優秀賞 (2点程度)	賞状・賞金2万円	2点	
	奨励賞 (若干数)	賞状・賞金1万円	3点	
	※審査員特別賞(設定無)	賞状・記念品	1点	
	参加賞 (応募者)	記念品	10点	
愛護活動の部	愛護会奨励賞 (若干数)	賞状・記念品	4点	4点

※審査員特別賞については実施要領になし(予算の範囲内)

(表彰式) 日時:平成30年11月9日(金)

場所:長野市生涯学習センター

その他:都市政策課で実施している「長野市景観賞」の表彰式と同時開催。
記念講演会の実施。

(公表) 作品集の配布

作品集データをホームページに掲載

2 関連事業

・わたしの花と緑

市内のプライベートな庭や緑地の写真を募集し応募作品集で紹介(2018応募者数 20点)
(2,000部印刷)

・花と緑めぐり

花と緑大賞受賞作品等市内の素敵な庭や緑地を園芸家の解説を聞きながら巡る
(5月28日午前の部21名・午後の部20名、6月1日午前の部18名)

3 経 費

◆ ながの花と緑大賞

- ・ 審査員報酬
- ・ 賞金
- ・ 記念品代
- ・ 消耗品費
- ・ 印刷代（冊子・チラシ）
- ・ 郵送料 等

450,774 円

※ 講演会経費は 2018 年度については都市政策課より支出

◆ 花と緑めぐり（関連事業）

- ・ 講師謝礼
- ・ めぐり先への謝礼 等

27,950 円

花と緑大賞応募者意見交換会での主な意見（令和元年8月29日開催）

- ・庭のセンス、技術、人づくりなど中身、環境などの何を求めているのかわからない。
- ・行政のやることなので公共性が大切。
- ・日頃の緑化活動の状況をみなさんに見てもらったり、他地区の様子を知る良い機会。
- ・個人の庭の応募が少ない。団体の応募が増えてきてから質が低下した。
- ・毎年、同じ団体が受賞していて飽和状態ではないのか。
- ・審査時期は今の6月上旬より少し早い5月中であるとありがたい。
- ・審査員は実際に緑化活動をしている緑と花いっぱいの会の人達がやった方が良いのでは。
- ・審査員はコメントを書いているので、応募者にフィードバックした方が良い。
- ・アドバイザー的な人（市の養成講座を受けた人など）を派遣したらどうか。
- ・不足分の財源をどこかから確保したらよいのではないか。
- ・表彰や賞状だけでは元気が出ない。
- ・賞というのはその結果として励み、やる気になる。
- ・近所の方の頂きものを植栽しているが、園芸店の協賛などがあれば華やかな花壇になる。
- ・基本的なコンセプトをしっかりとって計画的に事業を実施してほしい。
- ・本事業を今後も継続してもらいたい。

第12期 第8回長野市緑を豊かにする委員会 委員意見の抜粋

(令和元年7月17日開催)

- ・緑化を支えている人たちが高齢化し、サークルが減っている。
- ・県や市の植えた花にバケツ一杯の水をあげるような精神を長野モデルとしたい。
- ・日頃の活動の中で、皆さんが一生懸命やっている気持ちを市側がもう少し理解してサポートしてくれたらみんなの方向性が変わってくると思う。
- ・長野市が花と緑の文化が定着するような町になってほしい。
- ・どのような形でも構わないので花と緑大賞の継続を希望する。
- ・賞という形で順位をつけるのではなく、我が家、わが事業所の緑化を紹介する。例えば家ごとにあるイルミネーションのような感じで、それぞれが楽しみながら工夫しながらやっているのをホームページや冊子にする。
- ・同じ事業所が選ばれているので、できれば広く候補があると良い。
- ・応募者はお金のためにやっているのではない。
- ・お金をかけずに発信できるインスタグラムやフェイスブック等ですでに地域にあるものや地域の方の力を、こちらから発見、発掘、発信、紹介していく。
- ・賞金や表彰式での講演会をなくすなど、お金をかけずに大賞の場を盛り上げる。
- ・緑化活動やボランティア活動参加に対してポイントを与え、地域緑化の財源で、苗木や緑育協会の花苗と交換できるのはどうか。
- ・参加者のみなさんの苦労している点、ディスカッションできるような場所を設ける。
- ・審査をしたプロの方々からのアドバイスがあるといい。
- ・評価をフィードバックする体制が必要ではないか。
- ・廃止をする前に、こういう問題がありますがという検討の場を設けてほしかった。
- ・「小学校の学校の中にある物や活動の紹介、皆さんの学校でやっている活動を紹介して下さい」という形でフォーマットをつくる。
- ・小学校にある委員会活動や、生きもの係などの紹介や緑育協会のイベントに参加した児童のレポートなどを応募してもらう。
- ・自分たちの所はこうなんですよと紹介したそれぞれのブースを、実際に活動している人たちで紹介し合う形はどうか。
- ・応募者の中で、集まって自分たちで発表や活動紹介ができるという団体に各ブースを設けて学会のポスタープレゼンテーションのように紹介し合い、来場者とのコミュニケーションの場とする。

「ながの花と緑大賞 2020」実施内容事務局案

(新)

部 門	募 集 内 容	審 査	賞金 副賞	表彰式	公表
緑化活動の部	愛護会、地区、団体、個人等 個人や団体が整備する地域を彩る花壇 や、企業が推進する緑地など、多くの人の目に触れ、楽しむことのできる公開性と公共性の高い長野市内の花と緑	現地審査 後委員会 で協議し て決定	賞金 記念品 なし (賞状 のみ) ※	市長表彰	作品集 及び長 野市ホ ームペ ージ等 で公開
愛護活動の部	活動を開始して1年以上の長野市公園愛護会または長野市街路樹愛護会による公園または街路樹の愛護活動で、計画性、継続性があり、工夫が見られる活動	書類審査 (事務局)	記念品 なし (賞状 のみ)	市長表彰	
わたしの花と緑	長野市内で個人または事業者が管理するプライベートな庭、コンテナやハンギングバスケットを活用した花壇などを対象とし、公共性、公開性は問わないものとする。	審査なし	なし	なし	



※ 参加賞は廃止

(旧)

部 門	募 集 内 容	審 査	賞金 副賞	表彰式	公表
緑化活動の部	愛護会、地区、団体、個人等 個人や団体が整備する地域を彩る花壇 や、企業が推進する緑地など、多くの人の目に触れ、楽しむことのできる公開性と公共性の高い長野市内の花と緑	現地審査 後委員会 で協議し て決定	賞金 記念品 賞状	市長表彰	作品集 及び長 野市ホ ームペ ージ等 で公開
愛護活動の部	活動を開始して1年以上の長野市公園愛護会または長野市街路樹愛護会による公園または街路樹の愛護活動で、計画性、継続性があり、工夫が見られる活動	書類審査 (事務局)	記念品 賞状	市長表彰	
わたしの花と緑	長野市内で個人または事業者が管理するプライベートな庭、コンテナやハンギングバスケットを活用した花壇などを対象とし、公共性、公開性は問わないものとする。	審査なし	なし	なし	

ながの花と緑大賞 2020 開催までのスケジュール

日 時	内 容	
令和2年1月21日	第13期第1回長野市緑を豊かにする委員会	賞金について審議
3月上旬	募集チラシ印刷	
3月下旬	第13期第2回長野市緑を豊かにする委員会	審査についての提案
4月上旬	募集チラシ配布	市内園芸店・応募経験者・支所等へ
4月中旬	広報ながの5月号掲載・ホームページ掲載	
4月中旬～6月下旬	作品募集	<ul style="list-style-type: none"> ・審査のない「わたしの花と緑」は6月下旬募集締切り ・2部門については6月上旬募集締切り
6月中旬	審査	書類・現地審査後協議で決定
10月～11月頃	表彰式・公表	講演会廃止 冊子・ホームページで公表